

サロメ幻想

ワイルド、ビアズリーから
現代作家まで

imagination from Salomé



4



5



6



7



8



9



10



11

ワイルドとビアズリーの貴重な資料の他、
絵画・人形・オブジェ・写真など、
多様な現代作家の作品を展示。

●出品現代作家 (50音順)

愛実 Ayumi◎、大木美津江、小笠原勝、妃耶ハ◎、
木村龍◎、小峰恵子◎、相良つつじ◎、さちこの、
JUMPEI TAINAKA◎、多賀新◎、T.T.Angie◎、
戸田和子◎、二階健◎、衣 Hatori◎、林美登利◎、
マンタム◎、三浦悦子◎、村田英子◎、森園みるく◎、
山下昇平◎、山村俊雄◎

◎ここに掲載した図版はイメージです。
展示作品と異なる場合があります。



12



13



14



15



16



17



18



19

19世紀末、聖書の中の人物であったサロメが、
ワイルドとビアズリーによって、
ひとつの物語として再構築されました。
それは人々を魅了し、現在でもオペラや演劇、
アートや文学、コミックなど、
さまざまな分野でオマージュされ続けています。

そのワイルドは、アイルランド生まれであり、妖精文化にも近い存在です。
本展覧会では、うつのみや妖精ミュージアムが所蔵する
ワイルドとビアズリーの初版本など、貴重な資料とともに、
現代作家たちがサロメにインスピレーションを受けた作品を展示します。
サロメが生んだ多様な想像力を、
緑豊かな湖のほとりの美術館でお楽しみ下さい。



福島県奥会津の山深い中にある沼沢湖。
森に囲まれた湖・沼沢湖のほとりに、世界中の妖精が集まっています。その湖畔に1993年
にオープンした美術館には、日本の妖精研究の第一人者、井村君江のコレクションを中心
に、妖精を描いた絵画・絵本・文学の資料・人形・妖精をとり入れた小道具などがたくさん
展示されています。また、妖精美術館のステンドグラスは世界で活躍の場を広げる天野喜
孝さんが手掛けています。93年の当館オープニングに和泉流の狂言「夏の夜の夢」が上演
されたのを初めとして、妖精にちなんだ様々なイベントも行われています。



妖精美術館 TEL.0241-55-3180

交通 / JR只見線「会津川口駅(会津若松駅から約2時間)」よりタクシーで約20分。車の場合は磐越自動車道、会津坂下インターで下車、国道252号線を只見方面へ約40分。